

NEWS TOPICS

ホームページできました!

本協会について詳しく知っていただくためのサイトをオープンしました。お知らせページではイベント情報や報告など様々な情報を随時更新していきます。お時間あるときに、ぜひご覧ください!

—— 堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会HP ——
<http://sakaimachinami.jp/>



アンケートにご協力ありがとうございました!!

昨年12月から今年の1月にかけて、堺市との協働により、歴史的なまちなみ再生に向けた支援制度の創設をめざしたアンケート調査を実施し、たくさんの方からご回答をいただきました。今後、集計を行い、結果をお知らせしたいと思います。年末年始のお忙しい時期にもかかわらず、アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

《概要》

実施主体：堺環濠都市町なみ再生協議会(協力：堺市)
調査範囲：堺環濠都市北部地区
(範囲については、協議会NEWS vol.1をご参照ください。)
実施日：平成26年12月8日(月)～平成27年1月5日(月)
実施方法：各戸にポスティングにより配布し、同封の返信用封筒により回収(返信先は堺市)

前号(第1号)でお知らせしたスケジュールが変更になりました!!

前号では、昨年12月に総会の予定でしたが、総会は3月に変更になりました。その他、詳しくは、下記の今後の予定をご覧ください。

堺環濠都市NEWS

[ニュース]



発行日：2015.1.14
発行者：堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
編集：協議会 + musubi design
連絡先：〒590-0930 堺市堺区柳之町西1丁1-28
TEL.072-228-0953(志賀)

歴史的まちなみを
未来に活かすため

分科会・ワークショップを
開催しました!

vol.2

INFORMATION

まちなみガイドラインを一緒につくりませんか?

昨年8月から今年の3月にかけて、まちなみガイドライン作成分科会やワークショップを複数回開催し、みんなで意見を出し合いながら、堺環濠都市北部地区のまちなみのルールづくりを行っています。ご興味のある方はふるってご参加ください。お申込み・お問い合わせは、下記の連絡先まで。詳細は、参加希望者に追ってお知らせします。

「まちなみガイドライン」の作成に向けた今後の予定

平成27年

- 1月25日(日) | 第2回まちなみガイドライン作成分科会
青少年センター2F 錦西白寿荘(大) 14:00～
- 2月22日(日) | 第3回まちなみガイドライン作成分科会
- 3月15日(日) | 総会

まちなみガイドライン確定

※予定は変更になることがあります。

平成26年実施済み分科会・ワークショップ

- 8月24日(日) 第1回まちなみガイドライン作成分科会
- 8月31日(日) 第1回ワークショップ開催
- 9月28日(日) 第2回ワークショップ開催
- 10月26日(日) 第3回ワークショップ開催

分科会・ワークショップの申込み・お問い合わせはこちら

▶ 堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会 ▶ 堺市 建築都市局 都市計画部 都市景観室
 TEL / FAX 072-228-0953 TEL 072-228-7432 FAX 072-228-8468
 [志賀] 担当：甲野、垣内、福島

なお、協議会に関するお問い合わせは町なみ再生協議会まで、街なみ環境整備事業に関するお問い合わせは堺市建築都市局都市計画部 都市景観室までご連絡ください。

今号の表紙

今号の表紙は、駒寄(こまよせ)で、町家の「格子」前に設けられた柵のこと。柵の高さや幅はさまざまで、写真のように、表面を凹凸に仕上げる「なぐり」加工が行われているものも見られます。軒下へ人が入ることを防ぐ目的や、古くは荷物を運んできた牛馬を繋ぎ留める役割もありました。



photo : Kozo Ono

協議会発足から 現在までの活動報告

昨年の協議会発足から現在までに、
1回の分科会と3回のワークショップを行ないました！

2014 8.24 第1回分科会



協議会設立後の初めての分科会では、堺市都市景観室の職員の方から、本地区における歴史的なまちなみ再生の取り組みや、まちなみガイドラインの作成、アンケート調査の実施などについて説明がありました。まだ最初の段階で、詳細は明確には話されませんが、町家の所有者の方々も参加されて、熱心に耳を傾けておられました。



2014 8.31 第1回ワークショップ



第1回ワークショップでは、まず環濠都市北部地区の町家のスライドを使って、町家というのはどういうものなのか勉強しました。町家の説明は、今現在北部地区に残っている町家の写真や格子、虫籠窓の写真を使って、協議会の志賀会長から説明してもらいました。その後、スライドで多くの貴重な昔の堺の写真を観覧し、まだまだ面影が残っているところや、古くから続く町家の良さを確認しました。

2014 9.28 第2回ワークショップ



第2回ワークショップでは、実際にまち歩きをして、町家や町なみの現状を、みんなで楽しく確認しました。当日はお天気もよく、午前・午後を通じて開催されたまち歩きには、多くの皆様のご参加がありました。参加者は3班（今昔班、町家班1班・2班）に分かれ、今昔班は地区全体を、1班は地区北エリアの大道（紀州街道）より西側、2班は地区南エリアの大道より東側を歩きました。

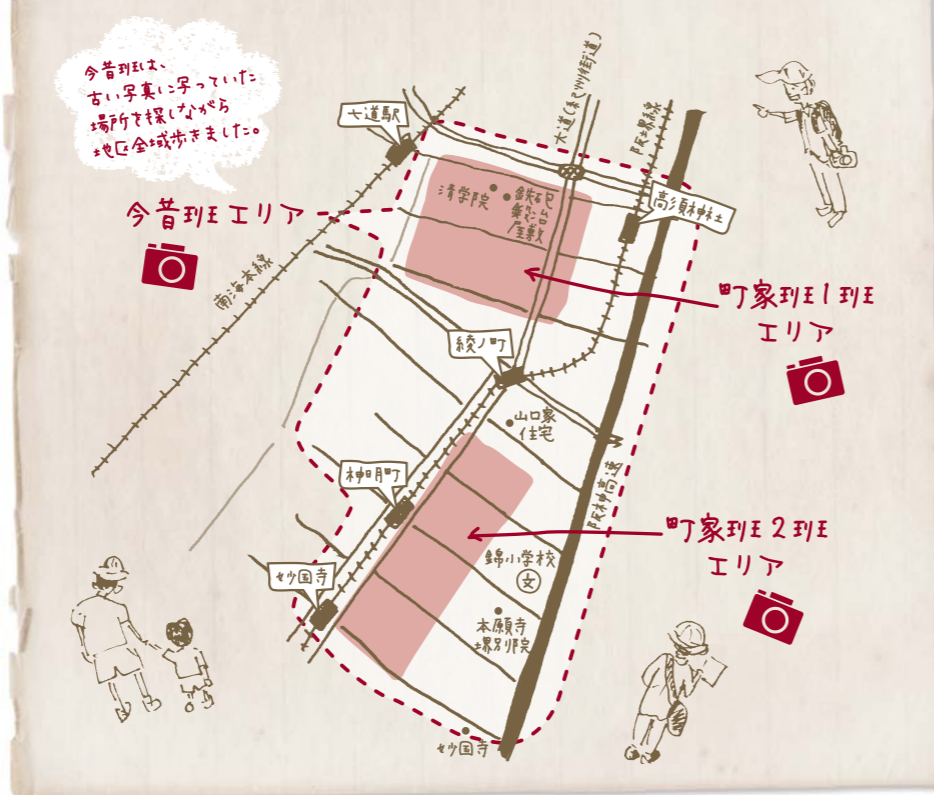
次ページで感想等の詳細をPICK UP! >>

2014 10.26 第3回ワークショップ



第3回ワークショップでは、第2回ワークショップでのまち歩きのまとめを各班ごとに発表し、それからグループに分かれて町なみの将来像に関する標語をみんなで考えました。まとめは今昔班、町家班1班、町家班2班の代表3人から発表してもらいました。歩いたルートから気づいた点や、町家の面白い写真、参加者の体験談など、各班見ているところが違ってその場にいる全員が楽しく聞きました。そのあと今昔班と町家班に分かれて、この旧市街地の標語を考えてみました。それぞれ時間を忘れるぐらい白熱した話し合いになり、いくつかの候補を出し合いました。

第2、3回ワークショップの各班担当エリアマップ



PICK UP [第2回ワークショップの各班感想]



各班代表者の方に感想をいただきました。それぞれの班ごとに視点や受け取り方に違いがあり、おもしろい結果になりました。

今昔班 私が参加した今昔班は、第1回目のワークショップで見た古い写真を手がかりに、ほぼ地区全域を午前と午後を通して歩きました。東南部の阪神高速道路（土居川跡）周辺では、高速道路建設後造成された土居川公園による町なみの消滅や家屋の建替えなどの影響が大きかったことは大変残念でした。しかし、にもかかわらず、今もあちこちに昔の写真の面影が残っていました。まさに、この面影を活かして町なみを再生するのは「今しかない!」と強く思いました。

町家班1班 町家班1班は資料を元に北部地区の桜之町西、北旅籠西を中心に歩きました。私たちの班は町家の細かい部分を軒一軒見て行きました。格子の大きさ、虫籠窓のデザイン、瓦の模様など興味深いものも多く、一つ一つ見るのに時間がかかってしまいました。参加者の中にはこの周辺に住んでいる方も参加していただいて、江戸や明治から続く町家にこんな見方があるんだと驚いてました。見慣れているはずの町ですが、こうやって色々な方々と歩くと、気づくところが多く、午前の部、午後の部もあつという間に終わってしまいました。終始、町家の部分を細かく見ていた町家班1班は、一つとっても面白いデザインや模様を見て遊び心があふれる、町家の要素がたくさんあることに気づきました。

町家班2班 私達、町家2班は北部地区の東南部、柳之町東、九間町東、神明町東を中心に見て巡りました。大道（紀州街道）に面した大屋根の家屋や、「八木栄次郎」住居跡周辺には、「堺の建て倒れ」を実証する大きな邸宅が点在しています。東六間筋周辺には、現役の家（長屋）も残りどこまでも真直に伸びる細い路地の町割に軒先が連なる風景に歴史的な堺の景観を見る事が出来ました。大正又は昭和の初め頃の築造と思われる2階家も多く、角家の入母家の屋根も予想以上に残されていましたが、パラペットや板金で隠れているのは極めて残念でした。「寺町」に隣接し「山口家」に近いこの周辺では堺らしい風情が強く残され、今回のワークショップではこのエリアには大きな可能性を感じる事が出来たと思います。

